

## 沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館運営方針及び収集方針

### 図書館

#### ○運営方針

1. 図書館と芸術資料館を併合した組織である。
2. 沖縄の伝統芸術の継承と創造、後継者の育成をめざし、汎アジア的芸術文化に関する教育、研究機関としての本学の理念を達成するための図書館である。
3. 沖縄を中心とした、周辺のアジア諸国の芸術関係文献、資料を重点的に収集・保存する地域的性格を持った図書館である。
4. 芸術分野の教育、調査、研究に関する閲覧等、館内利用を重点的に行い、貸出は補助的なサービスとする図書館である。
5. 学内における教育、調査、研究に貢献するとともに、他大学及び沖縄の芸術、文化関係者の研究に貢献することを目的としている図書館である。

#### ○収集方針

図書館の収集方針については、資料の内容から考慮する必要があり、又図書館運営方針にそった収集でなければならず、下表のとおりとする。

収集内容	美術工芸	音楽	沖縄・アジア	その他
収集比率	45%	35%	5%	15%

#### ○蔵書構成

蔵書の構成については、建物の物理的収容能力を考慮して決める必要があるの  
で、  
次に資料別の収容能力を示して蔵書構成とする。

資料名	物理的収容能力	蔵書構成	備考
図書	100,000冊	60%	雑誌のバックナンバーは、図版が多いものから保存する
雑誌		20%	
楽譜		20%	
L D	13,000点	100%	
C D	30,000点	100%	
ビデオ	6,500点	100%	

## 芸術資料館

### ○運営方針

1. 図書館と芸術資料館を併合した組織である。
2. 沖縄の伝統芸術の継承と創造、後継者の育成をめざし、汎アジア的芸術文化に関する教育、研究機関としての本学の理念を達成するための芸術資料館である。
3. 芸術資料館の機能に関しては、資料の収集、保存、研究、展示といった事業に加え、学内教育活動に貢献するとともに、資料の保存施設として、その責務を果たすものである。
4. 社会教育機関との連携、特に県立博物館・美術館等との相互の協力関係を強化し、芸術資料館の充実をはかる。

### ○収集方針

#### 1. 収集理念

芸術資料館の資料は、「芸大のなかの資料館」という特性を生かした収集であることが望まれる。従って、本学の理念に基づき、芸術教育活動や研究及び創作活動に貢献することが本館に求められる大きな役割である。

#### 2. 収集対象

- (1) 本学の理念に鑑み、沖縄の地域性と汎アジア的教育活動に関すると思われるもの
- (2) 本学の組織により、美術工芸、音楽のどちらかの分野にかかわりのある一次資料（実物）、あるいは二次資料（間接資料）
- (3) 特に本学学生に対し、実物鑑賞教育の観点から、教育プログラムに組み込んで活用されられると思われる参考資料（たとえば、裂地、陶片等）
- (4) 本学退職教員の作品及び卒業・修了生の優秀作品
- (5) 芸術資料館での保存管理が可能なもの
- (6) その他運営委員会において妥当であるとみなされたもの

附 則（令和4年3月25日館長決裁）

この方針は、令和4年3月25日から施行し、令和3年4月1日から適用する。